

第 4 回 深川市庁舎整備検討会議の内容等について（主な発言の要旨）

令和元年 9 月 17 日（火）開催

【庁舎建設の可能性のある土地について】

- ・市立病院での建設はイメージできない。市民が慣れ親しんだ現庁舎敷地が経費面でも良い。
- ・経済的な面や近隣施設のことなどを総合的に判断すると現庁舎敷地が良いと考える。
- ・最近の災害ではドローンの活用など空からの対応が多く、住宅地や周囲に高い建物が無い方が良いと思われる。市民が慣れている現庁舎敷地がベスト。
- ・駐車場を確保できない場所は現実的ではなく、民有地を買収せずに済む現庁舎敷地が良い。
- ・民有地買収は容易に進むものではなく期限がある中では難しい。現庁舎敷地が妥当である。
- ・土地購入や駐車場整備に費用がかからない現庁舎敷地が良い。
- ・病院との隣接のメリットはあると思うが、土地取得は時間的に難しく現庁舎敷地がベストな選択。
- ・代替駐車場の整備等は無駄。浸水想定等も含めて現庁舎敷地が良い。
- ・駐車場へ道路横断する場所は危険。駐車場が十分確保できる現庁舎敷地での建設が良い。
- ・現庁舎敷地はデ・アイ等の周辺施設もあり市民が使いやすい。駐車場確保の点からもベスト。
- ・市街地への建設が理想だが駐車場が確保できないため、現庁舎敷地が一番良い。
- ・デ・アイ等の関連施設との連携が非常に重要であり、現庁舎敷地での建設が理想的である。
- ・市立病院は駐車場の用地確保のため新たな負担が生じる心配があり、現庁舎敷地を希望する。
- ・中心地のあり方やコンパクトなまちづくり等を長い目で考えた場合、市立病院は有意義な素材だが、現実的には施設や事業期間・経費等を考えると現庁舎敷地がベストと感じる。
- ・生協跡地は狭く道路横断もあり余計な作業が必要となる。生きがい文化センターは景観を壊してしまう。現庁舎は色々なことが可能となる。場所を特定すれば自ずと何ができるか見極められる。
- ・皆で議論しほぼ 100%現庁舎敷地になったと思う。周辺施設も含め議論を尽くすのは良いこと。

【基本計画(案)の内容について】

- ・総合福祉センターは老朽化が進んでいるため、視察した北広島市庁舎のように複合化すれば良いと思っていたが、財政的に無理であれば原案どおり複合化しない方向で進めるしかない。
- ・総合福祉センターの老朽化は著しく、新庁舎との格差が生じれば当然整備せざるを得なくなる。スペースなど想定される課題を解決できるのであれば複合化していただきたい。
- ・総合福祉センターを庁舎に複合化した場合の影響なども含め検討してはどうか。
- ・総合福祉センターを複合化すると庁舎の配置レイアウトの選択肢が増えることにはなる。
- ・総合福祉センターは耐震性があり残すこととし、内装等のリニューアルの対応を考えてはどうか。
- ・経費を抑えながら良い庁舎を如何に作るかが大切。総合福祉センターは老朽化が進み使い勝手が悪いことは確かだが、新庁舎に合わせて何でもかんでも新しくする必要はない。
- ・総合福祉センターは現状の方が必要面積が確保され使いやすいという現場の声があるならば、あえて複合化する必要は無いと考える。
- ・使い続けることが可能な施設は、そのまま使った方が良い。
- ・車両センターは庁舎近くにある必要は無く、遊休地等に費用を抑え整備すれば良いと思う。
- ・他町では車両センターを庁舎付近から郊外に移転した事例がある。本市でも検討いただきたい。
- ・新庁舎は想定の上3階建てであれば、免震構造は必要なく耐震構造で十分だと思う。
- ・事業手法は従来どおりの方が事業者も動きやすい。ベストな方法を市で検討していただきたい。
- ・競争入札で低価格で落札した事業者が問題となった事例もあり従前にとらわれない形で良い。